

2009 COM杯 英語・日本語スピーチ大会

応募要項

●今年度大会テーマ “Change”

- 開催日 平成21年11月7日(土) 午後1時 大会開始 ~ 6時 閉会予定
- 会場 銚子商工会議所 1階 大ホール
- 部門内容 第1部 英語暗誦の部 (制限時間 暗誦Ⅰ: 1分30秒 暗誦Ⅱ: 4分)
第2部 弁論の部 (制限時間 5分)
 - ・外国人による日本語弁論
 - ・英語弁論の部
- 参加対象 学生・一般
- 応募方法 下記2点を大会事務局まで、メール、郵送のいずれかによりご提出ください。
(鮮明な印刷文字でしたら FAX も可)

※大会出場通知は11月初旬に文書にて出場者ご本人へ通知いたします。

- 提出する物
 - 1 発表スピーチ原稿 (A4)
可能な限り、タイプ又はワープロ等で作成し、1枚内に収めてください。
 - 2 応募用紙 (A4)
原稿とは別のA4用紙に以下を記載してください。
 - * 応募部門名 * スピーチのタイトル * 氏名 * 国籍
 - * 現住所 * 性別 * 学校・学年 又は 職業・年齢

●応募期間 平成21年8月1日(土) ~ 10月10日(土) **※切厳守**

- 審査、表彰 本大会の審査において、特別賞数名、及び、弁論の部より、アピール力・表現力が特に優れ、BeCOMの目指すグッド・コミュニケーターに最もふさわしい1名を、グランドプライズとして表彰。

(GP副賞: 東京ディズニーリゾート パスポート ペアチケット)

- 大会審査 審査員 千葉科学大学国際交流室 他 **審査基準** 別紙参照

- 後援 銚子市 銚子市教育委員会 銚子商工会議所 千葉科学大学
銚子市・コースベイ市姉妹都市友好委員会 (社) 銚子青年会議所
銚子ロータリークラブ 銚子東ロータリークラブ

<主催及び大会事務局> NPO法人 国際教育推進プロジェクトBeCOM

〒288-0038 千葉県銚子市南町12-16

T e l 0 4 7 9 (2 5) 8 8 7 0

F a x 0 4 7 9 (2 2) 8 8 8 9

M a i l info@be-com.jp

U R L http://www.be-com.jp

※いずれの部門も制限時間を超えた場合は減点となります。

●英語暗誦部門(I・II 共通)

Pronunciation 発音	15
Stress & Intonation 強勢・抑揚	15
Fluency & Volume 流暢さ・声の大きさ	15
Impression & Overall Deliver 印象・話し方全般	25
Memorization 暗誦度	30
Total : 合計	100

スピーチ原稿を書くレベルには達していないが、自分が選んだ英文を暗記し、規定の時間内で正確にそして説得力をもって発表してもらう部門です。

たとえ複数の人が同じ発表英文を選んだとしても、個々の解釈によって全く雰囲気が変わる場合があります。バレエやオーケストラでも同様ですが、誰かによって作られたものであったとしても、自分の解釈に合うようにアレンジし自分流にする事でその英文は自分のスピーチになり得るのです。

また、審査基準についてですが、まず暗記が完璧でなければなりません。そして、基本的英語の発音能力に優れ、尚且つ文章全体に対する思い入れが聞き手に伝わっているかどうかで評価します。

●英語弁論部門

Pronunciation 発音	10
Stress & Intonation 強勢・抑揚	10
Fluency & Volume 流暢さ・声の大きさ	10
Impression & Overall Deliver 印象・話し方全般	20
Contents & Uniqueness 内容・独創性	15
Grammar & Usage 文法・語法	10
Construction 構成	10
Thematic Appreciation テーマ認識	15
Total 合計	100

テーマについて英文で原稿を作成し、それを発表してもらう部門です。個々の等身大で伝えたい事を明確にしながらスピーチ原稿の作成に励んでいただきたいと思います。

当部門の審査基準についてですが、まず発表者の伝えたい内容が主題を明確にして書かれているかを評価します。内容は抽象的な内容の羅列よりも、体験談等を含めた具体例があげてある方がより聞き手に伝わり易いと思います。その際、文章の構成・文法は的確でなければなりません。

弁論部門では、もちろん発音も大切ですが、内容の充実度や説得力を重視します。

●日本語弁論部門

発音	15
語彙	15
文章構成	30
テーマ認識	20
表現力	20
合計	100

英語弁論と同様に、大会テーマについて日本語で原稿を作成し、それを発表していただきます。個々の等身大で伝えたい事を明確にしながらスピーチ原稿の作成に励んでいただきたいと思います。

当部門の審査基準についてですが、まず発表者の伝えたい内容が主題を明確にして書かれているかを評価します。内容は抽象的な内容の羅列よりも、体験談を含めた具体例があげてある方が、より聞き手に伝わりやすいと思います。その際、語彙が豊富でその使い方が適切であることを基本に、なによりも文章の構成が適切に行われていなければなりません。

発表方法としては、もちろん発音も大切ですが、伝えたい内容をよりよく伝える工夫がされた表現力を意識してください。